

# 第38回東日賞

最先端の技術と地域に根差した医療

## 地域貢献も積極姿勢

豊橋ハートセンター院長・鈴木孝彦氏

鈴木氏は1999年5月、高度な専門医療と患者本位の優しい医療を理念に掲げ、豊橋ハートセンターを開設。細い管

を足の付け根などの血管から心臓まで挿入するカテーテル治療の分野で高く評価され、日本でも有数の名医として各メディアで紹介されている。

また、手術現場のライブ中継を海外にも広く発信し、技術向上や症例研究に役

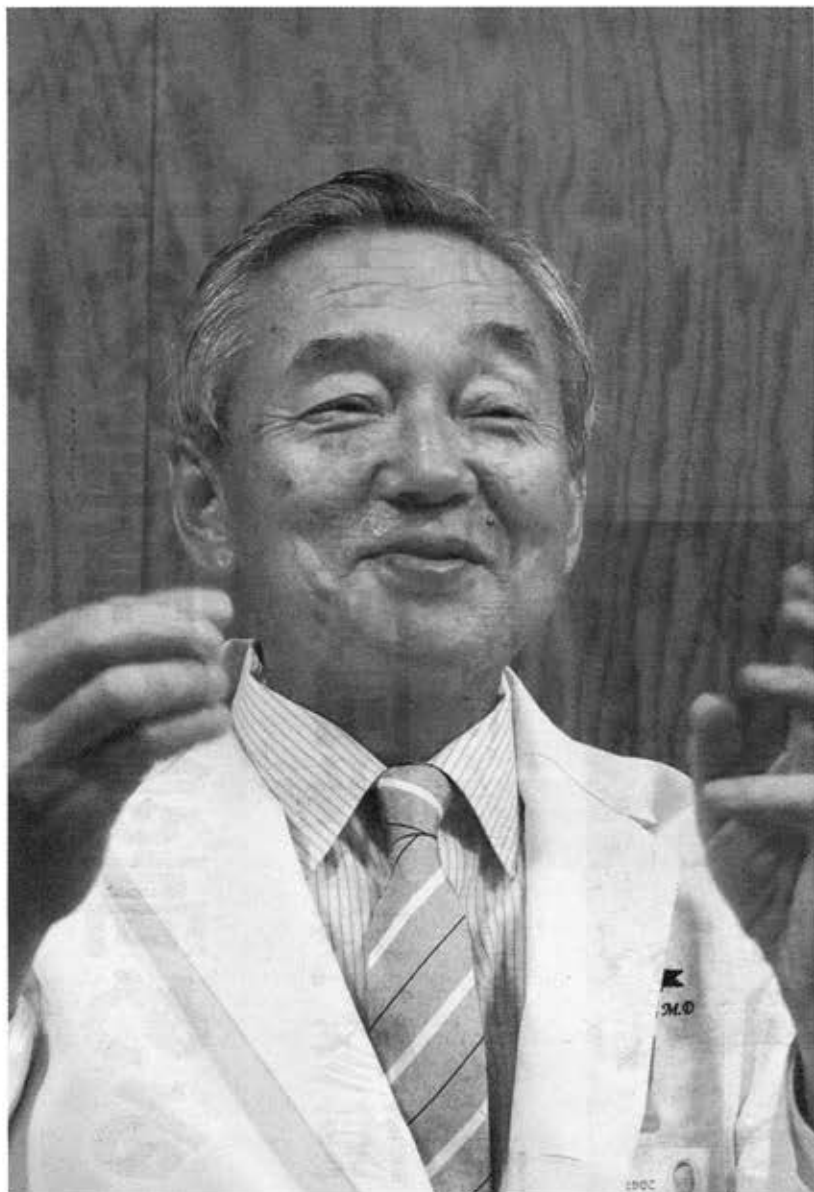
立てるなど、循環器医療の発展に積極的に取り組んでいる。2008年に名古屋、09年には岐阜にそれぞれ系列院を開設している。

国内有数の症例実績を誇り、世界的にも注目を集める専門病院であると同時に、地域貢献にも積極的だ。鈴木氏は「地域に根差すことが医療の基本だ」と力を込める。毎年8月10日に開く「ハートの日」イベントや、「ええじゃないか友の会」と題した季刊誌の発行や講演会を通して地域とのつながりを深めている。

鈴木氏は1947(昭和22)年生まれ、豊橋市出身。73年に岐阜大学医学部卒業後、同第2内科、市立美濃病院、東京女子医大を経て83年から、国立療養所豊橋東病院(現・国立病院機構豊橋医療センター)に勤務。副院長を務めた後、99年5月に豊橋ハートセンターを開院。日本心血管インターベンション治療学会名誉会員、CCT世話人などの要職を務める。医療法人澄心会理事長、医療法人名古屋澄心会理事。

(多田羅有美)

手術現場ライブ中継 海外にも広く発信



東日賞を受賞した鈴木孝彦氏